

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	コミュニティ情報推進事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	コミュニティ課			
施策	2-6		市民の主体的連帯活動に支えられたコミュニティの推進	主管課長	樋口 洋徳			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民、各種団体	意図	市民との情報共有。
事業内容	市のホームページや広報ながれやまを通して、コミュニティ情報を伝える。			
事業開始から現在までの状況変化	市民や自治会、各種団体のコミュニティ活動を促進するため情報発信に取り組んでいる。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	コミュニティ情報が充実していると感じる市民	58.10	53.60	57.10	%	↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	ホームページで自治会や市民活動団体を紹介することにより、地域の活性化につながっている。			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 情報の透明性については、ホームページでの公開を通じて確保されている。			
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		343,250	335,600	329,600			
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)		343,250	335,600	329,600			
人役・職員(人)		0.05	0.05	0.05			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	自治会や市民活動団体等のコミュニティ情報をHP掲載により発信する。	③取組における課題(Check)	自治会や市民活動団体等のコミュニティ情報を継続発信することが必要である。
②H30に実施した取組(Do)	自治会や市民活動団体等のコミュニティ情報をHP掲載により発信した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	今後も自治会や市民活動団体等のコミュニティ情報をホームページ等で発信することにより、コミュニティの活性化を図る。